

令和2年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立早岐中学校		作成者	職名	副校長
電話番号	(0956) 38-2165			氏名	萩山 栄二
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)					
4月	実施テーマ	コンプライアンス意識の高揚			
<u>取組の評価・改善点</u> 年度当初であり、「早岐中学校職員の服務について」全職員で確認した。また全職員の運転免許証を現認して記載事項を確認した。体罰防止については、生徒指導基本方針などを確認するときに合わせて確認をしている。情報セキュリティについては、パスワード付きのUSBを全教職員に配付し、必要があれば利用できるようにした。交通法規の遵守については、春の全国交通安全運動に合わせて、スピードの出しすぎや危険運転、歩行者の安全確保などについて意識を高めた。 コンプライアンス意識を高めるための取組をしており、職員の中にも気を付けなければという思いが年度当初は生まれている。よって、本年度当初に取り組んだことは一定の効果があったと考える。ただし、コンプライアンスの意識を維持していくことが課題であり、次第に緩んでいくため随時職員に対して働きかけをしていく必要がある。					
7月	実施テーマ	公金等の不正処理防止、ハラスメントの防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 校内の各種会計簿については、全てチェックをして不正がないことを諸帳簿点検と合わせて実施した。結果全ての会計諸帳簿が適切に処理されていることを確認できた。SNS等によるトラブルについては、今年度に発生した事件などから誹謗中傷は大きな問題に発展することを生徒の使用とも合わせて確認して自覚を促した。セクハラチェックシートは教職員全員に実施させ、セクハラ防止への意識を高めた。 7月は校内研修の時間を十分に取ることが難しい中で、計画した内容を実施することになった。どれも細切れになったような感じになったところはあるが、意識づけをしていくことが大事であると考え行ってきた。すべての会計簿を点検することができたことにより、会計担当の不正防止への意識を高めることができた。					
12月	実施テーマ	人権意識の高揚、「交通三悪」の撲滅(強調月間)			
<u>取組の評価・改善点</u> 人権意識の高揚ということで、各学年ごとに人権集会を実施し「いじめ」についてかんがえた。また、体罰については会議等において教職員への指導を行った。交通安全運動と合わせて、安全運転についての研修を本校校区内にある自動車学校から講師を招いて研修を実施した。 体罰は人権侵害であるという基本的なことだけでなく、学校の信頼を揺るがすものであるととらえていくことを再確認できた。昨年度に引き続き自動車学校から講師を招いて研修を実施したが、教職員の認識を改めさせるよい機会となった。また自動車学校経営者からも講話をしていただいて、職員研修にも貢献していただいた。					
2 服務規律委員会					
委員会名	服務規律委員会				
構成員	所属内委員(10名 構成員:校長・副校長・教頭・主幹教諭・教務・各学年主任・養護教諭・スクールカウンセラー) 外部委員(3名 役職等:学校評議員)				

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	ウ	キ							
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

() できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	---	-----------	------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

() できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	---	-----------	------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

() できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない
---------	---	------------	-------------

資料添付 有 ・ (無)

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、サービス規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。